

【著者紹介】

曾品滄 TSENG Pintsang

中央研究院臺灣史研究所
食物史、臺灣史、農業史

〈美國的滋味：冷戰前期台灣的可口可樂禁令與消費（1950–1967）〉、
《臺灣史研究》26(2)、2019年／“The Wartime Regime and the
Development of Public Diet in Taiwan (1947–1950s)” *Journal of
Current Chinese Affairs*, Vol 47, No 2 (2018)／〈餐桌上的戰爭——日
治末期臺灣的食物配給、黑市與殖民地社會〉、《新史學》28(4)、2017年。

陳玉箴 CHEN Yujen

臺灣師範大學臺灣語文學系
食文化研究、飲食文學、メディアと消費社会

〈食物消費中的國家體現：「台灣菜」的文化史〉、台北：聯經（forthcoming）
／「料理人と料理教育者—台湾が日本に輸出した「中国料理」：1945年
から1970年を中心に」（持田洋平訳）、岩間一弘編『中国料理と近現代
日本』、慶應義塾大学出版会、2019年／〈環境、軍需、移動人口：澎湖餐
飲業歴史變遷與「島嶼型食生活」研究〉、《臺灣史研究》25(3)、2018年

陳奕汎 CHEN Yifan

名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程
日本近現代文学

「抵抗する（獣）の暴力——田村泰次郎「肉体の門」試論——」、Global
Network for Gender Studies in Asia、タイチュラロンコン大学、
2019年9月

河西英通 KAWANISHI Hidemichi

広島大学森戸国際高等教育学院
歴史学

『社共合同』の時代』同時代社、2019年3月／「北大闘争の位置と思想」
『国立歴史民俗博物館研究報告』216、2019年3月／「津軽と大学闘争」
『アリーナ』22、2019年11月

ネイスン・ホブソン Nathan HOPSON

名古屋大学大学院人文学研究科
日本近現代史、食文化史、科学技術社会論

“Ingrained Habits: The ‘Kitchen Cars’ and the Transformation of
Postwar Japanese Diet and Identity.” *Food, Culture & Society*
(Forthcoming)／“Nutrition as National Defense: Japan’s Imperial
Government Institute for Nutrition, 1920–1940.” *Journal of
Japanese Studies* 45, no. 1 (2019)／“‘Fake Food: Authentic Japa-
nese Product’—On the Rise of Visuality in Middlebrow Japanese
Culinary Culture.” *Japan Forum* 31, no. 2 (October 2018).

ヒラリー・マクソン Hillary MAXSON

パシフィック大学歴史学科
日本近代史、女性史、ジェンダー史、食文化史

“From ‘Motherhood in the Interest of the State’ to Motherhood in
the Interest of Mothers: Rethinking the First Mothers’ Congress.”
In *Rethinking Japanese Feminisms*, ed. by Julia Bullock, Ayako
Kano, and James Welker (2017).

岩田=ワイケナント・クリスティーナ Kristina IWATA-WEICKGENANT

名古屋大学大学院人文学研究科
日本近現代文学

「上書きする文学——柳美里の『JR上野駅公園口』を周辺の歴史として
読む」ミツヨ・ワダ・マルシアーノ編『〈ポスト3.11〉メディア言説再考』
法政大学出版局、2019年／“Challenging the Myth of Homogeneity:
Immigrant Writing in Japan.” Sandra Vlasta, Wiebke Sievers, eds.
Immigrant and Ethnic-Minority Writers since 1945. Brill 2018/
Fukushima and the Arts—Negotiating Nuclear Disaster, with
Barbara Geilhorn, Routledge 2017.

大崎晴美 OSAKI Harumi

中京大学国際教養学部非常勤講師
哲学・思想

*Nothingness in the Heart of Empire: The Moral and Political
Philosophy of the Kyoto School in Imperial Japan*, Sate University
of New York Press, 2019.／“The Dialectic of Hegel and Nishida:
How to Deal with Modernity,” *European Journal of Japanese
Philosophy*, European Network of Japanese Philosophy, 2017.／
“Pure Experience in Question: William James in the Philosophies
of Kitarō Nishida and Alfred North Whitehead,” *Philosophy East
and West*, University of Hawaii Press, 2015.

岩田晋典 IWATA Shinsuke

愛知大学国際コミュニケーション学部
文化人類学

「懐古論メモランダム：『地球の歩き方ガイドブック』シリーズ台湾編
における懐かしさ、ノスタルジア、レトロ」『立教大学観光学部紀要』第
22号、2020年／“Slogans, Poetry and Platitudes in Japan’s Travel
Media: Function of Stereotype in the “Chikyu-No-Arukikata”
Guidebook Series”『愛知大学国際問題研究所紀要=Journal of
international affairs』第154号、愛知大学国際問題研究所、2019年／
「大調査旅行における書院生の台湾経験：“近代帝国”を確認する営み」
加納寛編『東亜同文書院生、アジアを行く！』あるむ、2017年

藤木秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院人文学研究科
映像学

Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan,
Harvard University Asia Center, 2013／「映画観客とは何者か——
メディアと社会主体の近現代史」名古屋大学出版会、2019年／*The
Japanese Cinema Book*, co-ed. with Alastair Phillips, British Film
Institute, 2020

アラステア・フィリップス Alastair PHILLIPS

ウォリック大学映画テレビ研究学科
映像学

*City of Darkness, City of Light: Émigré Filmmakers in Paris
1929–1939*, Amsterdam University Press, 2003／*Paris in the
Cinema: Beyond the Flâneur*, co-ed. with Ginette Vincendeau,
British Film Institute, 2018／*The Japanese Cinema Book*, co-ed.
with Hideaki Fujiki, British Film Institute, 2020

趙書心 ZHAO Shuxin

名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程
日本近現代文学、クィア研究

「性愛化される女性同性愛表象——田村俊子「春の晩」論」名古屋大学
立教大学院生研究交流会、立教大学、2019年3月

張文聰 CHANG WenChung

名古屋大学大学院人文学研究科博士候補研究員／愛知大学現代中国
学部非常勤講師

日本近代文学、植民地台湾日本語文学

「近年日本の臺灣研究状況(2012~2017)」『臺灣史研究』26:1、2019
年3月(共著)／「反逆的な恋愛と結婚——葉陶(愛の結晶)を再読する」
『名古屋大学人文学フォーラム』3、2020年3月

李相赫 LEE Sanghyuk

名古屋大学大学院文学研究科博士候補研究員
日本近代文学、戦争文学

「戦場の欲望をめぐるジェンダー構造と二重性——林芙美子の『戦線』
『北岸部隊』」「跨境／日本語文学研究」第8号、2019年／「전쟁문학의
'얼굴'과 '언어'——이시카와 다츠조의 『살아 있는 병사』」「戦争文学の「顔」
と「言葉」——石川達三の『生きてゐる兵隊』」『日本文化研究』第71輯、
2019年

市川遥 ICHIKAWA Haruka

名古屋大学大学院人文学研究科博士後期課程／日本学術振興会特別
研究員DC2
日本近代文学

「『再起奉公』を読む——「美談」形式における傷痍軍人表象を中心に
——」昭和文学会、法政大学、2018年12月

游書昱 YU Shuyu

名古屋大学大学院人文学研究科博士後期課程
日本現代文学、男性性研究

「クィアな少女小説——田中兆子「六本指のトミー」を読む」日近文・
昭和・社会合同国際研究集会、二松学舎大学、2019年11月

黒岩裕市 KUROIWA Yuichi

フェリス女学院大学非常勤講師
日本近現代文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究

「ゲイの可視化を読む——現代文学に描かれる〈性の多様性〉?」晃洋
書房、2016年／「『性別』を脱ぐ、『性別』を着込む——村田沙耶香『ハコ
ブネ』とジェンダー規範」『現代思想』2019年3月臨時増刊号／「松浦
理英子『裏ヴァージョン』と女子プロレス」中央大学人文科学研究所編
『読むことのクィア——続 愛の技法』中央大学出版部、2019年

霜山博也 SHIMOYAMA Hiroya

名古屋芸術大学、豊橋創造大学非常勤講師
西洋哲学(現代思想)、美学、情報創造論

“A Deconstruction of Robot Ethics through the Concept of the
'Robomot'”, *Envisioning Robots in Society—Power, Politics, and
Public Space*, Proceedings of Robophilosophy 2018 / TRANSOR

2018, IOS Press, 2018. / “The ‘Diagram’ as the Audio-Visual
Image”, 2019 Nicograph International (NicolInt), IEEE, 2019. /
“The (un)symmetrical critique of the potentiality actual/virtual: the
art machine and the diagram”, *Symmetry: Art and Science*,
2019– 11th Congress and Exhibition, SIS-Symmetry, 2019.

栗田秀法 KURITA Hidenori

名古屋大学大学院人文学研究科
美術館学・西洋美術史

「ブッサンにおける語りと寓意」(三元社、2014)／共著「イメージ制作
の場と環境：西洋近世・近代美術史における図像学と美術理論」中央
公論美術出版、2018年／編著「現代博物館学入門」ミネルヴァ書房、
2019年

日比嘉高 HIBI Yoshitaka

名古屋大学大学院人文学研究科
日本近現代文学・文化研究

「文学の歴史をどう書き直すのか 二〇世紀日本の小説・空間・メディア
」笠間書院、2016年／『ジャパニーズ・アメリカ 移民文学、出版文
化、収容所』新曜社、2014年／『自己表象』の文学史 自分を書く小説
の登場』翰林書房、2002年ほか。

加島正浩 KASHIMA Masahiro

名古屋大学大学院人文学研究科博士後期課程
現代日本文学、東日本大震災以後の文化表象分析

「『非当事者』にできること——東日本大震災以後の文学にみる被災地と
東京の関係」『JunCture』8号、2017年3月／「怒りを可能にするため
に——木村友祐『イサの氾濫』論」『跨境』8号、2019年6月／「被爆者の
祈念への贈与——加藤典洋による『反核』異論」への応答」『原爆文学研
究』18号、2019年12月

王馨怡 WANG Xinyi

名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程
映像学

「健全者」と「障害者」の境界線——日本映画における構築された「障害
者」、第9回日韓大学院生研究集会、韓国木浦大学校、2019年8月

林緑子 HAYASHI Midoriko

名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程
アニメーション史

「サークルとしてのアニメーション文化——1960~1980年代の日本を
中心に」日本映像学会中部支部第2回研究会、椋山女学園大学、2019年
12月

笹川萌 SASAKAWA Moe

名古屋大学文学部
現代日本文学、多和田葉子研究